2010年2月10日（水）～14日（日）

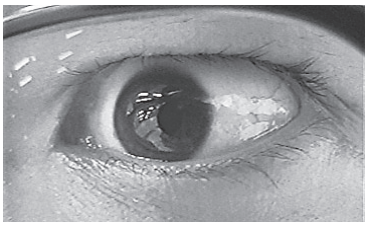
※12日（金）は休館のため、上映がありません。

# PFF アワード・セレクション

主催／広島市映像文化ライブラリー　作品提供／ぴあフィルムフェスティバル事務局

“映画の新しい才能の発見と育成”をテーマに1977年から開催され、日本映画界の第一線で活躍する映画監督を数多く生み出している「ぴあフィルムフェスティバル」（PFF）。このたび、映像文化ライブラリーでは、そのフェスティバルのメインとなる「PFFアワード」で2007年と2008年に受賞した作品を中心に上映します。明日の日本映画界を担う新しい才能の発見を楽しみながら、新鮮な感動を味わうことができる「PFFアワード・セレクション」、ぜひこの機会にご鑑賞ください。

※ 当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。
※ 映画鑑賞会は、上映開始30分後からの入場はおことわりします。



## ■2月10日（水）

①14:00～　鑑賞料／大人370円・こども180円

### 剥き出しにっぽん

91分　カラー　監督／石井裕也　2007グランプリ、音楽賞（TOKYO FM賞）

物事が自分の思うように進まない太郎は、好きだけどそのことをハッキリ言えなかった洋子を誘い、ひなびた一軒家で畑仕事を始める。ところがなぜかそこに一緒に付いてくるのは、リストラされたばかりのダメ人間な自分の父親。家族の絆や再生を強く訴えかける作品。

②18:30～　鑑賞料／大人370円・こども180円

### 俺たちの世界

92分　カラー　監督／中島 良

2007審査員特別賞、技術賞（IMAGICA賞）、エンタテインメント賞（エイベックス・エンタテインメント賞）

虚無感に苛まれた女子高生。彼女の家庭教師をしながら、就活とともにサークル仲間たちとの「危険な遊び」から逃れられない大学生。そして、同級生いじめにも閉口しながら満たされない日々を過ごす高校生。彼らが今の自分から脱却するために何かを掴もうともがけばもがくほど、社会との歪みのなかで、がんじがらめになっていく皮肉さをこの作品は真摯にとらえている。

## ■2月11日（木・祝）

①10:30～　＜2作品・98分＞　鑑賞料／大人370円・こども180円

### 季　夏

50分　カラー　監督／水谷江里　2007審査員特別賞

雛がかえる。新しい生命の誕生。本来なら誰もが祝福すべき出来事のはずなのに、小学校のクラスの中で、たった一人の少年だけがそれに納得できない。この世に生を受けることは幸せか？人間の本質的なテーマを問い掛ける作品。

### 背

48分　カラー　監督／山口 学　2007企画賞（TBS賞）、GyaO賞（USEN賞）

きっかけはホンの些細な過ちだった。路上で酔いに苦しむ女性を介護しようと、彼女のアパートまで送っていくだけだったはずなのに。彼女に誘惑されるままキスをし、さあいよいよ、というところに出現した黄色い靴下の男。見られた？　見られてない？　黄色い恐怖に取り憑かれた男の運命を翻弄するデスゲーム。

②14:00～　鑑賞料／大人370円・こども180円

### 青い猿

107分　カラー　監督／池田 暁　2007観客賞（東京）

同棲相手の彼女が書き置きを残して突然、家出。彼女を追って東京に向かう主人公・新田君。ところが、何事にも優柔不断な彼は、一人じゃ何もできない。自分に甘えてばかりいる青年に成長する日は来るのか？

広島市映像文化ライブラリー　広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525
http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/

# PFF アワード・セレクション

## ■2月13日（土）

### ①10:30～　＜2作品・82分＞　鑑賞料／大人370円・こども無料

#### その子供

34分　カラー　監督／尾﨑香仁　2007準グランプリ、観客賞（名古屋）

「私は子供を産んでから変わったの」と聞かされたヒロイン美咲は、思い詰めたあげく、数少ない男友達全員に声をかけ相手を急募。勢いの止まらない彼女に、周囲はただただ唖然とするばかり。思い立ったらなりふり構わぬ強烈なまでのヒロインの固執を描く。

#### 青海二丁目先

48分　カラー　監督／角田裕秋、野田賢一　2007審査員特別賞

母親からの仕送りをいいことに、贅沢三昧する若者と、その彼が捨てたゴミ袋の中から、Tシャツや家電製品、食べかけのトーストまで、こまめに分別収集を続けるもう一人の若者。やがて、二人は真っ正面から勝負することに。

### ②14:00～　鑑賞料／大人370円・こども無料

#### マイム マイム

87分　カラー　監督／岨手由貴子

2008準グランプリ、エンタテインメント賞（エイベックス・エンタテインメント賞）

恋人とも家族や友達ともしっくりいかないマコト（♀）は、再会した幼馴染みの男の子とキャンプに行くが…。「ただアタシたち、暇なんだよ」と呟くマコトの、自分を持て余す心に深く軽やかに寄り添う距離感が絶妙。

### ②18:00～　鑑賞料／大人370円・こども無料

#### GHOST OF YESTERDAY

130分　カラー　監督／松野 泉　2008審査員特別賞、企画賞（TBS賞）

記憶に欠落がある母のために高校生の娘はある企みを思いつくが、19歳の兄はその企みに乗れず、煩悶する。家族ごっこの筋立ての中に、善人たちの小さな嘘、大きな嘘、爆発しそうなココロを丁寧に描写した労作。

## ■2月14日（日）

### ①10:30～　鑑賞料／大人370円・こども180円

#### かざあな

94分　カラー　監督／内田伸輝　2008審査員特別賞

他愛無い若者の日常、なのにヌーベルバーグの恋愛映画みたい？　肉体と言葉と重苦しい感情や記憶を持て余す男女が、役者の身体を通して生活し呼吸する。移ろう人心の交差、時間、光、風、声、皮膚感覚の映像が機微を映す。

### ②14:00～　＜2作品・127分＞　鑑賞料／大人370円・こども180円

#### 天狗の葉

71分　カラー　監督／斉藤貴志　2008観客賞（神戸・京都）

少年と少女には秘密の隠れ家があった。一緒に過ごす時間が何よりも大切だったはずなのに、彼らは緩やかにすれ違っていく。幼いふたりの孤独が一瞬交差する“壊れやすい時”を、繊細な手つきで画面に留めうる稀有な存在の登場。

#### 蝉　顔

56分　カラー　監督／野田賢一、角田裕秋　2008観客賞（東京）

心のチアガールを支えに漫画家を夢見るへなちょこ青年が、突如親の庇護を解かれホームレスに。最大の敵は自己の中！ キュートな不細工キャラが妄想力で世の闇に巣食うモンスターと対峙、夢を持てない甘え世代を救う？

**広島市映像文化ライブラリー**
広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525
http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/

■開館時間：火～土曜日　午前10時～午後8時（日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで）　■休館日：月曜日（8月6日と祝日は開館）、祝日の振替日、12月29日～1月4日